

シリーズ 血液検査データから学ぶ病態と疾患への対応

離床の極意

～4回コース～

参加者の声

腎機能障害と電解質編

医師の講義は、堅苦しく難しいことが多いような印象を持っていましたが、離床学会で講義してくださる先生はとてもわかりやすいです。優しい口調で、腎臓の機能・障害・病態・電解質異常についてとてもわかりやすく勉強できました。（7年目 看護師）

前半を専門医師の講義、後半が離床学会講師の講義という2段構えで、大変理解しやすかったです。基本的なデータの理解はもちろん、アンモニアやシスタチンCなど踏み込んだデータも知ることができたので、臨床で活用していきます。（15年目 作業療法士）

慢性腎不全の患者さんを担当することが多く、ADLを維持していく難しさを日々痛感しています。今回のセミナーで学んだ、電解質異常、特に高カリウムと低マグネシウム血症に注意して関わっていこうと思います。（3年目 理学療法士）

呼吸と循環編

夜勤明けでも寝ることなく楽しく勉強できました！ALBとCRPの関係性の説明の仕方はとてもわかりやすく後輩にもそのように教えようと思いました。（11年目 看護師）

タイムリー質問に回答してもらえたので、オンラインの良さを感じました。白血球に関する質問（「左に寄る」）について丁寧に回答くださりありがとうございました。（5年目 言語聴覚士）

ASTは肝機能だけだと思っていたので、心筋評価での活用は目からウロコでした。トロポニンTと併せて注意していきます。（8年目 理学療法士）

離床の極意

～4回コース～

参加者の声

凝固と線溶系編

人間は出血には強く、血栓に弱いというお話がとても印象的でした。医師がどのような思考で凝固-線溶系の治療戦略を考えているのかがよくわかりました。DICサイクルを意識していきたいと思います。（7年目 作業療法士）

凝固・線溶系は苦手でしたが、かわいいキャラクターが沢山登場してとてもわかりやすく理解できました。PT-INRとAPTTの使い分けを意識していきます。（5年目 看護師）

covid19の画像や最新の知見など大変勉強になりました。D-DimerとFDPのアウト値とフィジカルアセスメントについて、臨床に活かしていきたいです。（11年目 理学療法士）

肝機能障害編

AST、ALT値は高いか低いかが見ていなかった自分に反省です。急性期～慢性期のどこの状態にあるのかを意識して、AST/ALT比を見ていきます。（7年目 作業療法士）

『コリンエステラーゼが肝臓の気持ちを反映している』というのはわかりやすかったです！クワシオコールと低栄養に注意します。（2年目 理学療法士）

肝硬変の患者さんの欠食が、どれほどの危険な事なのかわかりました。血糖値を気にして、夜間の空腹を我慢していた患者さんがいるので、LES食の重要性をスタッフと共有して、カンファレンスでプランを検討します。（13年目 看護師）

肝臓リハビリテーションの話はドクターから聞いてとても学びになりました。また、肝障害患者さんの離床に『PT活性』をみるのは新たな発見でした。指示を鵜呑みにしないよう、アウト値をしっかりとチェックします！（9年目 理学療法士）